



第21回
(2026年度)

Asia Business School

ABS

アジア・ビジネススクール

ABSは、関西の経済団体等が協力し、実践的なカリキュラムでグローバルに活躍できる次世代ビジネスリーダーを育成します。

国内研修

8月26日(水)~28日(金)
(2泊3日)

主催

アジア・ビジネススクール運営協議会

後援予定

大阪商工会議所・京都商工会議所・神戸商工会議所

参加費

60万円(研修費、航空運賃、宿泊費、消費税等を含む)

参加対象

30~40代で将来の経営幹部候補の方

海外研修(タイ・バンコク)

9月13日(日)~19日(土)
(6泊7日)

成果報告会・修了式

10月23日(金)

スクール長 ご挨拶

関西一丸となって目指す 次世代ビジネスリーダーの育成



アジア・ビジネススクール
運営協議会 会長 兼
スクール長
大坪 清

近年、日本企業の国際競争力の低下が指摘される中、その要因の一つとして、成熟市場を前提とした発想や意思決定の枠組みから脱却できていない現状が挙げられます。世界の成長の重心がアジアへと移る中、企業にはこれまで以上に外部環境の変化を的確に捉え、柔軟かつ迅速に戦略を構築する力が求められています。

アジア・ビジネススクール(ABS)は、2002年に関西の主要経済団体が共同で設置した関西産業競争力会議の一環として開設され、グローバルな視野と卓越した戦略策定能力を有するビジネスリーダーの育成に取り組んでまいりました。2003年の誕生以来、ご参加いただいた方々は600名を超え、多くの修了生が国内外のビジネスの舞台上で高い評価を受けているところであります。

第21回目を迎えるABSでは、「ASEANの要衝タイにおける、新規ビジネスモデルの検証」をテーマに据え、フィールドワークと戦略立案を融合させた実践的な学びを提供します。参加者の皆様には、現地企業との対話や市場分析を通じて、新規ビジネスモデルの可能性と成立条件を見極めていただきます。

企業・組織において、人材育成は最重要課題の一つです。その中で、ABSでは「海外現地の商習慣の理解」に加え、「当事者意識の醸成」や「修了後も継続する中長期的な関係性の構築」を重視し、関西経済の将来を担う次世代ビジネスリーダーの育成に貢献してまいります。ぜひ多くの企業・組織の皆様にご参加いただき、本プログラムをご活用賜りますようお願い申し上げます。

指導教授 ご挨拶

国内外の「異文化」に触れ 若手・中堅社員が大きく成長するチャンス



アジア・ダイナミック・
コミュニケーションズ(株)
代表取締役
佐藤 大輔

ABSが提供するの単なる新規事業計画の演習ではなく、「多様な価値観に触れ、自分の考えを形にし、困難を乗り越える過程そのものを体験する場」でもあります。国内外での議論の中で経験する「同調圧力を乗り越える試み」、超過密スケジュールの中で事業策定やアポイントメントを取る「計画力と行動力」、そして未知の事業計画に挑む中で培われる「柔軟な思考と粘り強さ」。これらはいずれも短期的な成果にとどまらず、今後の業務やキャリアにおいて繰り返し立ち返る基盤となります。

自ら動き、考え、協働する過程を通じて、確かな成長の手応えを得た受講生は、派遣企業の皆様にとっても大きな財産となるはず。若手で将来の幹部候補を担う方がいらっしゃれば、是非ご派遣ください。



Asia Business School

ABSの 目的

アジア・ビジネススクール(ABS)は、関西の経済団体等が協力し、アジアでの競争に打ち勝ち、グローバルに活躍できる次世代ビジネスリーダーを育成するスクールです。

変化のスピードが速まり、世界市場が一体化していく中で、企業はこれまでの発想や思考の枠組みでは解決できない課題に直面しています。

ABSでは、グローバルな視点で、自ら新たな領域を開拓して、企業の成長に転化できる資質と能力を持った優秀な若手の人材を育成します。

自ら考え、行動する実践的カリキュラム

タイの首都バンコクを訪れ、現地での企業訪問・経営者講話に加え、チーム単位で活動する独自インタビュー調査によるビジネスモデル構築により、グローバルビジネスセンスとアジアビジネスの戦略立案能力を高めます。

各社の優秀な人材が集う相互研鑽の場

各社から選抜されたビジネスパーソンが集うため、ハイレベルな相互研鑽・他流試合の場が実現します。また、国内・海外研修における限られた時間内での密度の濃い事業計画策定は、参加者相互に強い絆を生み、修了後も繋がる人脈を形成します。

専門知識・起業等実務経験を有する講師陣

アジアビジネスに精通する大学教員や、タイで起業経験のある実務家・コンサルタント、異文化コミュニケーショントレーニングの専門家等を招聘します。講義のほか、参加者との討議・指導・評価も行います。



こういった方にオススメ

30～40代で将来の経営幹部候補の方

グローバルに活躍することを期待・希望されている方

異業種交流を通じて視野を広げ、中長期的な人脈の形成を求めている方

ABS講師陣

国内研修講師

村治 孝浩氏

(GLOBALEX LLC Managing Director/Japan Specialist)

ガンタートン・ワンナワス氏

(MEDIATOR CO., LTD. CEO)

山口 隆英氏

(兵庫県立大学 国際商経学部国際商経学科 教授)

海外研修講師(現地審査員)

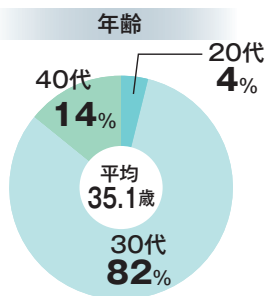
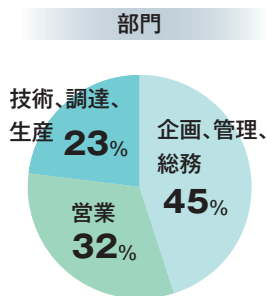
小田原 靖氏

(パーソナルコンサルタントマンパワータイランド株式会社 代表取締役)

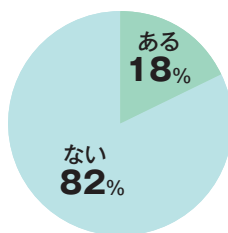
水原 和美氏

(ナナプロ Nanapro Co., Ltd.)

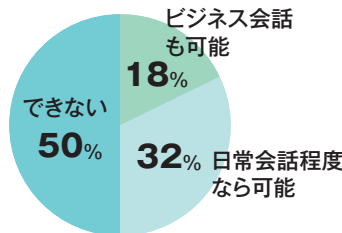
2025年度実績



タイでの業務経験



参加者の英語力



参加者の声

日々の業務でも0→1発想が求められる中、**チームで新規事業案を検討するプロセスそのもの**が大きな学びでした。

通常業務では得難い**事業策定の経験**に加え、合計10日間にわたって密度の濃い時間を共有できたことで、単なる名刺交換にとどまらない関係を築くことができました。

出身も年齢もバックグラウンドも違う人たちと一つの発表テーマに向けて進めることがこんなにも難しいことだとは思わなかったです。

私の所属部門においてタイは今年度の重点開拓国であり、**現地の商習慣や文化、人々の価値観を深く理解**する貴重な機会となりました。

第21回 ABSのカリキュラム

※変更の可能性があります

講義やディスカッションを通じ、
事業計画の策定やアジアビジネスについて学ぶ

国内研修	場所	内容
8月26日(水)午前 ~8月28日(金)夕刻	セミナーハウス クロス・ウェーブ梅田 〒530-0026 大阪市北区神山町1-12	●インプット (事業計画策定講座、タイの文化・歴史・経済について、チームビルディング、グローバルビジネスと異文化理解、タイ人経営者の講話) ●グループ活動(チームごとのディスカッション) ●プレゼンテーション(タイで成功するビジネスの仮説)
現地経営者との意見交換や現地企業等へのインタビュー調査を通じ、 アジアビジネスに関する実践的な事業計画を策定する		
海外研修		
9月13日(日)	タイ・バンコク市内	日本(関西空港等)→タイ・バンコク
	タイ・バンコク市内	●インプット (現地経営者との意見交換) ●グループ活動 (インタビュー調査、事業計画策定作業、ウォークラリー)
9月14日(月) ~9月19日(土)	バンコク市内ホテル	●プレゼンテーション(タイで成功するビジネスとは?)
9月19日(土)	帰国	タイ・バンコク→日本(関西空港等)
成果報告会・修了式・懇親パーティー		
10月23日(金) 午後	大阪市内	各チームによる事業計画の発表会、 交流会(第1回~第20回修了生合同)



開催概要

◆場所

国内研修: セミナーハウス クロス・ウェーブ梅田 大阪府大阪市北区神山町1-12
海外研修: タイ・バンコク市内
成果報告会・修了式: 大阪市内

◆参加対象

- 30~40代で将来の経営幹部候補の方
- グローバルに活躍することを期待・希望されている方

◆募集人数

25名程度(先着順)※申込締切は7月31日(金)です

◆参加費用

60万円(研修費、渡航運賃、宿泊費、消費税等を含む)

※関西空港以外を利用する場合は、別途航空運賃の差額分が必要となります。

◆主催

アジア・ビジネススクール運営協議会
[関西経済連合会、関西経済同友会、関西生産性本部、
太平洋人材交流センター、企業、学識経験者により構成]

◆会長/スクール長

大坪 清 公益財団法人 関西生産性本部 会長

◆顧問

大林 剛郎 公益社団法人 関西経済連合会 国際委員会交流担当委員長
井上 礼之 タイキン工業株式会社 名誉会長 グローバルグループ代表執行役員

後援予定: 大阪商工会議所・京都商工会議所・神戸商工会議所

※上記所属・役職は案内状作成時点(2026年2月)のものです。

昨年度参加企業一覧

因幡電機産業(株)、大阪ガス(株)、(学)大阪経済大学、カナデビア(株)、川崎重工業(株)、(一財)関西電気保安協会、関西電力(株)、近鉄グループホールディングス(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)阪急阪神百貨店、(株)日阪製作所、フィガロ技研(株)、(株)毎日放送、Man to Man(株)、三菱商事(株)、ユアサM&B(株)、レンゴー(株)、(株)をくだ屋技研

キャンセル・ 催行中止 について

- 参加申込後の参加取消は、諸準備・手配の都合上、2026年8月4日(火)午前中まで承ります。なおそれ以降の参加取消は、参加取消により発生した経費相当額実費をご負担いただく場合があります。
 - 後期(海外)研修訪問地において、参加者の安全確保および研修実施に支障をきたす恐れがある場合(※)は催行中止といたします。なお、前期研修終了後に本理由による催行中止となった場合、前期(国内)研修費用のみ申し受けれます。
- (※)外務省が「渡航の是非を検討してください」「渡航の延長をお勧めします」と判断する場合は中止とします。



お申込みはこちら

※記載の内容、講師、開催形式等は諸事情により、やむを得ず変更になる場合があります。